

# インフォメーション2

## 花粉症とくすり

花粉症の有病率は2019年の時点で4割超にのぼると関連学会の調査データがあり多くの国民を悩ませ続ける社会問題です。政府も花粉症対策に取り組んでいて、その中の一つに全国の花粉情報の集積というものがあり、旭中央病院でも花粉測定を行って旭市のデータを供出しております。

春先の2月から4月の関東地方での花粉症は主にスギ花粉であり、この場合スギ花粉をアレルゲン(アレルギー反応の原因となる物質)としてヒスタミンなどのアレルギー症状を引き起こす物質が体内で放出されアレルギー反応が起ります。

飛散の時期につきましては、昨年(2025年)の旭市では1月4日から観測開始しすでにその日からスギ花粉が極めて少ない量ですが観測され、2月下旬に多いと言われる量の飛散が本格的に始まり、3月上旬にピークを迎きました。3月下旬のまだスギ花粉の飛散が続いている時にヒノキ科花粉の飛散が加わります。

毎年花粉症に苦労される方はピーク時期を見越して予防的に対応するのが効果的と考えられます。

症状としてくしゃみ・鼻水型と、鼻づまり型があります。またアレルギー性結膜炎も高い頻度で合併します。治療に使われる薬をご紹介します。

### 抗アレルギー薬

花粉症に対して初期から予防的に用いられます。抗アレルギー薬は体内でヒスタミンが放出されるのを抑える作用があり鼻づまりに対しても有効とされています。

抗アレルギー薬は遅効性なので花粉が飛び始める1~2週間前から予防的に飲み始め、飛散時期が終わるまで飲み続けることが効果的です。アレルギー性結膜炎に対しては点眼薬を用います。

### 第二世代抗ヒスタミン薬

放出されたヒスタミンが働くのを抑えます。効き目が早く症状として出現しているくしゃみ・鼻水を止めるのに有効です。食事や併用する薬との効き目が弱くなったり強くなったりする薬もあるので飲み方に注意してください。一部の緑内障や前立腺肥大の方は使用できません。

第一世代に比べると眠気や抗コリン作用といった作用が弱く運転や危険を伴う作業をする場合の危険性は減っていますが引き続き注意は必要です。

### ステロイド外用剤

ステロイドは炎症を鎮める作用が強力な薬で、アレルギーにとどまらず多くの急性疾患に用いられます。花粉症では主に点眼薬や点鼻薬として使用されます。ステロイド点鼻薬の場合、頓用では効果が期待できないため正しい使用方法や回数で使用する必要があります。

症状が強い場合は内服治療を選択する場合もありますが、その場合は効果が強力で副作用も強くなるのであまり長期での使用はできません。(一週間程度)

### 分子標的薬

上記の治療では効果がない重症のアレルギー性鼻炎の場合に対象となります。専門医師による診断が必要で定期的に皮下注射します。コストも高額となります。この治療は抗ヒスタミン薬と一緒に使用します。注射薬ですので治療を受ける方のストレスは大きくなります。

### アレルゲン免疫療法

スギ花粉の減感作療法として舌下錠のものもあり、専門医師の診断が必要とされています。一般的にスギ花粉開始前に使用する薬です。治療期間も3年以上治療を行うことが推奨されています。

薬剤局 菅谷敏和

### 基本理念

#### すべては患者さんのために

私たちは地域の皆さまの健康を守るために、常に研鑽に努め、医学的にも経済的にも社会的にも適正な模範的医療を提供します。

地方独立行政法人  
総合病院 国保旭中央病院

[www.hospital.asahi.chiba.jp](http://www.hospital.asahi.chiba.jp)  
〒289-2511 千葉県旭市イの1326 TEL.0479-63-8111(代) FAX.0479-63-8580



お知らせ

- 初診外来受付時間……[ 7:45～11:00 ]  
自動受付機は、6:30からご利用いただけます。
- 自動精算機稼働時間……[ 7:00～20:00 ]
- 駐車場巡回車……[ 8:30～14:00 ]

## 旭中央病院附属看護専門学校では、2026年度入学の看護学生を募集します

一般選考 二次募集	
募集人員	若干名
願書受付	2026年2月2日(月)～2月18日(水)必着
試験日	2026年2月25日(水)《筆記》《面接》
試験科目	【筆記】 国語(現代の国語・言語文化)・ 英語コミュニケーションI※・数学I※ ※どちらか1教科選択

[お問い合わせ先]  
旭中央病院附属看護専門学校 〒289-2511 旭市イの1182番地  
☎0479-63-8111(代)(内線7702・7703)



## 知りたい 聞きたい 学びたい!!

### 2026年2月 まめ知識講座スケジュール

日々の暮らしの中で健康の維持や病気にならないための工夫について、まめ知識講座を開催しています。事前の申し込みは不要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

**場所** 本館1階待合ホール  
インフォメーション・自動受付機周辺

**時間** 11:00～11:20

日付	テーマ	講師
2/18(水)	医療用麻薬	緩和薬物療法 認定薬剤師 岩田 佳之
2/24(火)	白内障と緑内障のやさしいまめ知識	視能訓練士 岡本 留美
2/25(水)	医療用麻薬	緩和薬物療法 認定薬剤師 岩田 佳之
2/26(木)	動く・食べる・しゃべるでフレイル予防!	摂食嚥下障害看護 認定看護師 掛巣 孝則

\*都合により変更や中止とさせて  
いただくことがあります

○まめ知識講座の予定表は病院ホームページにも  
掲載しています。 [www.hospital.asahi.chiba.jp](http://www.hospital.asahi.chiba.jp)

[お問い合わせ先] 旭中央病院 TQMセンター